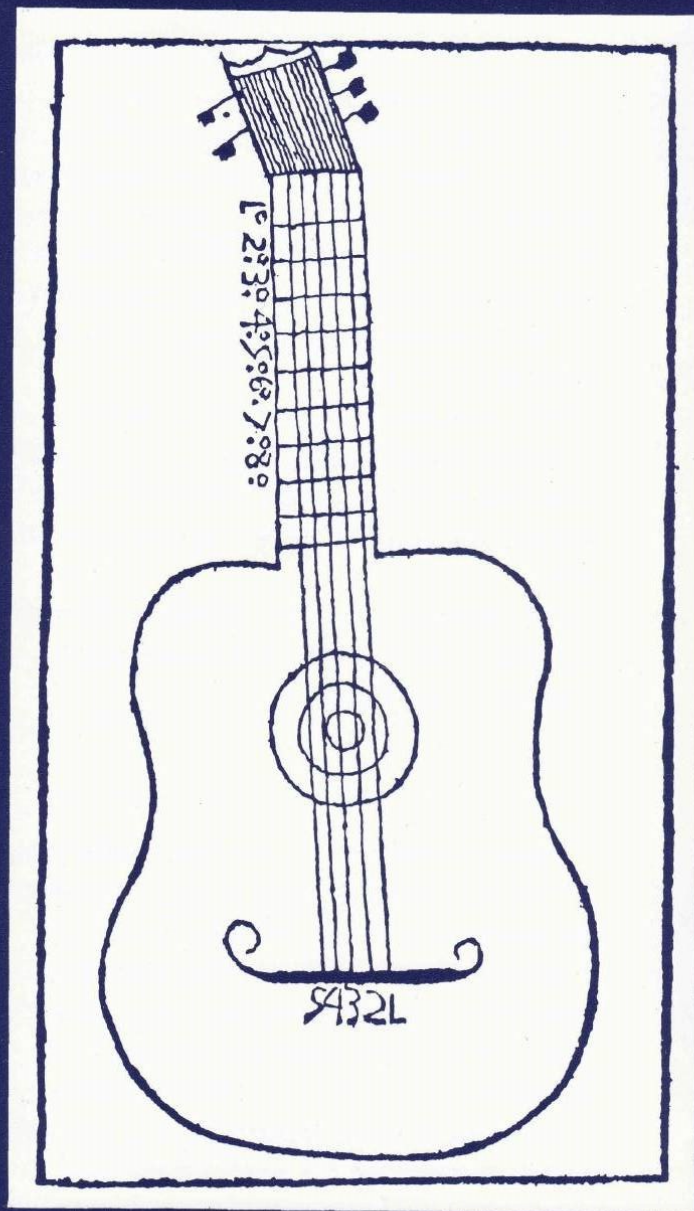


# 演奏会 奈良ギター合奏団



'91 9/22 日 P.M1:30

ならまちセンター 市民ホール

## ごあいさつ



奈良ギター合奏団代表 中西光雄

本日は、ようこそご来場下さいまして誠にありがとうございます。団員一同心から厚くお礼申し上げます。

ギターを愛する同志が、地域文化発展の一助になればとの願いのもと、合奏団を結成し、早や八年の歳月がたちました。仕事に家事にと忙しい合間をぬっての練習で、上達もままならぬ所ではございますが、三谷先生の熱心なご指導、また、本日も来場下さいました皆様方のあたたかいご支援のお陰をもちまして、第3回目の演奏会を開催できましたことを深く感謝申し上げます。次第でございます。

さて、音楽は申し上げるまでもなく、奏き手と、聴き手によって成り立つ芸術文化です。今日のこのひとときを皆様方と共に過ごせますことを無上の喜びと致す所でございます。どうか最後までごゆっくりお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

なお、最後になりましたが、本開催にあたり皆様方から多大のご支援、ご協力を仰ぎましたことを厚くお礼申し上げ、私のごあいさつとさせていただきます。

コンサート・マスター 木村史郎



奈良ギター合奏団として、第3回目の演奏会を開催することができ、たいへん嬉しく思います。また、昨年同様奈良県芸術祭に参加することができ、光栄至極に存じます。

当ギター合奏団は、20才台から50才台まで幅広い年齢の方が参加しており、またギター歴も様々ですが、全員“ギターが大好き”でギターに対する情熱は人一倍です。このような中で、若輩者の私がコンサートマスターとしての重責をなかなか果たし切れない状況ですが、全員が月2回という短い練習時間で少しでもいい演奏ができるよう努力しております。

本日お聴きいただく演奏も、決して自慢できるような演奏ではありませんが、アマチュアの合奏団として、全員のギターに対する情熱をお聴きいただければ幸いに存じます。

# プログラム

## 〔第一部〕

### クラシック・アンサンブル

ペルシャの市場にて

トルコ行進曲

ソナタ Op.15-2

### ラテン・アンサンブル

シバの女王

オレ・ガッパ

蒼いノクターン

闘牛士のマンボ

## 〔第二部〕

イントロダクション

コルドバ

アイネ・クライネ・ナハトムジーク

キューバの雨

『四季』より夏

アルハンブラの思い出

## 【曲 目 解 説】

### 〔第 一 部〕

#### クラシック・アンサンブル

##### ペルシャの市場にて

作曲家ケテルビィ（1875～1959）はイギリスの作曲家で描写音楽にすぐれた作品を残しております。この曲は彼の作品のなかでは最もポピュラーな曲で、東洋的なメロディーが印象的です。原曲はオーケストラで演奏するのですが本日は東洋的なムードに適したギター合奏でお聴き戴きます。曲はラクダの商隊が近づき、市場の雑踏、乞食達の合唱、美しい王女の到来を表す魅力ある旋律、そして怪しげな奇術師、蛇使い、太守のラッパが市場を暫しにぎやかし、またラクダの商隊が去っていき静かな市場の情景を見事に音で表現しております。なおペルシャは今年の初め世界を驚かせたかの湾岸戦争の舞台となったペルシャ湾でありませんが、現在のイランの旧名称です。

##### トルコ行進曲

モーツァルト（1756～1791）作曲のこの曲は、もともとピアノソナタイ長調K 331の第3楽章ですが、独立してトルコ行進曲として色んな楽器にアレンジされ、モーツァルトの作品のなかで最も有名な曲の一つになっています。曲は軽快で優美なメロディーで終始しており何処となくエキゾチックな雰囲気の人々の心を捕らえております。

##### ソナタ Op15-2

F. ソル（1778～1839）スペインの作曲家、オペラ・交響曲・室内楽等の作品を残しております。中でもギター作品は独奏曲、練習曲など数多く古典を代表する重要なレパートリーになっています。このソナタは独奏曲であります。低音部を受け持つ、バスギターを加えた6パート用に編曲されたものを演奏いたします。古典の味わいを感じ取って頂ければ幸いです。

#### ラテン・アンサンブル

##### シバの女王

いわゆるフレンチ・ポップス・ブームの中心になったヒット曲で、ミッシェル・ローランが1967年に作曲、自ら歌いました。しかし、この曲が真に有名になったのは、その後、レーモン・ルフェーブルやポール・モーリアがレコーディングしてからです。旧約聖書に登場するシバの女王をテーマに、現代の愛が描かれています。

##### オレ・ガッパ

コンチネンタル・タンゴの代表的な曲で、マランド楽団の自作自演の演奏が特に有名です。本日は、ギターによる歯切れの良いリズムと美しいメロディーをたっぷりお楽しみ下さい。

##### 蒼いノクターン

ポール・モーリアの代表的作品です。大編成のストリングスをバックに彼のピアノが繰り広げる演奏は、エレガントな詩情にあふれていて、まさに名曲名演です。本日は、ギターの美しい音色で表現したいと思います。

### 闘牛士のマンボ

ラテンのスタンダードナンバーでモンテルデの作曲です。原曲は「マカレーナの乙女」という曲で、ジプシーの守り神であるマカレーナの聖母に恋心を伝える乙女の気持ちを描いています。のちに、ペレス・プラードによりマンボ化され「闘牛士のマンボ」と呼ばれています。

## [第 二 部]

### イントロダクション

スペインの民族楽派、ファリャの作品、バレー音楽三角帽子より序奏と代官の踊りを聴いて戴きます。この三角帽子は日本の時代劇にもよく出てくる、代官が美しい粉屋の女房に横恋慕し戒められるといった内容をユーモラスに表現した曲です。

### コルドバ

先程のファリャにも大変影響を与えたスペイン楽派を代表する、ピアニストで作曲家のアルベニスの曲です。アルベニスの曲はアストリアスを始めギターの重要なレパートリーになっています。コルドバは地名ですが、そこにある教会の鐘の音や夜の町のにぎやかさ、そしてイスラム文化の雰囲気が漂った曲です。

### アイネ・クライネ・ナハトムジーク

最近テレビや映画でアマデウスと言ってブームになっておりますモーツァルトの曲です。今回は第一楽章のみ聴いて戴きます。日本語で言いますと少ない人数のためのセレナーデといった曲になります。本来はバイオリンや管楽器ですが、ギターで軽妙で華やかな感じが出せればと思います。

### キューバの雨

キューバの現代作曲家レオ・ブローエルの曲です。ブローエルはギターの為の美しい曲をたくさん作曲しています。この曲は題名通りキューバの雨の情景をあらわした曲で、ポツリ・ポツリとゆっくりと雨が降り始め、土砂降りになり、そしてまた小雨になっていく曲です。ただキューバの雨ですから日本の雨とは少し違うかも知れません。

### 『四季』より夏

イタリアの作曲家A. ヴィバルディーによる有名な曲ですが、春・夏・秋・冬、それぞれ3楽章から出来ていて、45分から演奏時間が必要です。それぞれ、その季節のソネット（詩）を音楽に表現した曲で、鳥の声（カッコー・山鳩）、雷鳴、雪、そして人間の絶望や希望を音にしています。その中で夏、全3楽章は15分程度の演奏で最も長くダイナミックに造られています。最初暑さのために全てが疲れ果てた様から始まり、鳥の声や人の様、自然の情景が手にとるように表現され、雨や雷鳴の緊張の中クライマックスを迎えます。

### アルハンブラの思い出

ギター曲のなかで最も有名な曲でしょう。近代ギターの父タレガの曲です。スペインのアルハンブラ宮殿の美しい情景をトレモロ奏法で、この世のものとは思えぬほど美しいメロディーです。